

事業番号

2023 - デジ - 22 - 0001 - 01

令和5年度行政事業レビューシート

(デジタル庁)

事業名	国家資格等情報連携・活用システム			担当部局庁	国民向けサービスグループ	作成責任者						
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	マイナンバーカード・OSS担当	参事官 上飯屋 尚						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律			関係する 計画、通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年(2023年)6月9日閣議決定)							
政策	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費							
施策	情報システムの整備											
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/											
事業の目的 (5行程度以内)	医師、歯科医師、看護師等の約30の社会保障に係る国家資格等については、デジタル社会形成整備法を踏まえた優先的な取組として、マイナンバーを利用した手続のデジタル化を進め、住民基本台帳ネットワークシステム及び情報提供ネットワークシステムとの連携等により資格取得・更新等の手続時の添付書類の省略を目指す。											
現状・課題 (5行程度以内)	各省庁が所管する各種免許・国家資格等の管理は、必ずしもデジタル化が進んでおらず、資格者の各種届出等が徹底されていない場合もある。また、対面や郵送での手続が必要となることや、紙ベースの処理が行われていること等、資格者の資格証明、行政機関等の資格確認の負担も少なくない。											
事業概要 (5行程度以内)	令和3年度(2021年度)に各種免許・国家資格等の範囲等についての調査を実施し、令和5年度(2023年度)までに、資格管理者等が共同利用できる資格情報連携等に関するシステムの開発・構築を行った上で、令和6年度(2024年度)には、資格所持者が当該資格を所持していることを、マイナンバーカードの電子証明書等を活用して証明、提示できるようにする。											
事業概要URL	-											
実施方法	委託・請負											
補助率等	-											
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	-	令和3年度	-	令和4年度	-	令和5年度	-	令和6年度要求	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		執行額(G)	-	-	60	814	-	-	-	-	-	
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)						
計(A)	-	-	-	-								

活動内容① (アクティビティ)		国家資格等情報連携・活用システムの設計・開発を行うほか、資格管理者等向けに説明会を開催し、本システムの利用によるメリットを伝えるとともに、ヒアリングや意見交換等を行うことで、搭載に向けた課題の洗い出しや対応策の検討などを行う。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		資格管理者等向けの説明会の開催	開催件数	活動実績	回	-	-	5	-	-
				当初見込み	回	-	-	-	5	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		資格管理者等向けに説明会を開催の上、ヒアリングや意見交換等を行うことで、資格管理者等の本システムの利用を促進するとともに、円滑な参画を図ることが可能になると考えられるため、本システムの利用資格の拡大を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		本システムの利用資格の拡大	利用資格件数	成果実績	件	-	-	-	-	
				目標値	件	-	-	-	32	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		医師、歯科医師、看護師等の社会保障等に係る国家資格等の資格数								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		本システムの利用資格の拡大により、国家資格等手続に係るオンライン申請が可能となる対象資格が増加することで、当該手続に係るオンライン申請の普及・促進につながると考えられるため、国家資格等手続に係るオンライン申請の普及・促進を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		国家資格等手続に係るオンライン申請の普及・促進	利用件数	成果実績	件	-	-	-	-	
				目標値	件	-	-	-	36,194	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「国家資格等情報連携・活用システム(仮称)の要件定義に伴う調査検討業務」における手続き件数調査結果								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

デジタル庁

【一般競争(総合評価)】

A.民間会社(1社)
814百万円

国家資格等情報連携・活用システムに係る設計・開発等業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	国家資格等情報連携・活用システムの設計・開発	814			
計		814	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	9010601021385	国家資格等情報連携・活用システムに係る設計・開発等業務	814	一般競争契約 (総合評価)	3	87.6%	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	A	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	9010601021385	国家資格等情報連携・活用システムに係る設計・開発等業務	2,651	一般競争契約 (総合評価)	3	87.6%	